

あい おい 相生中島 だより

川が出相い 文化が生まれる

第6回 十勝川相生中島市民協働会議 シンポジウム 『未来を語ろう！十勝川相生中島』が、平成18年2月7日（火）19：00よりとかちプラザ 講習室402で開催されました。治水と自然についての持続性に配慮した考え方として全国的なモデルになりうる市民案について、62名の大勢の方々が参加され、様々な議論が活発に行われました。ご参加下さった皆様、大変お疲れ様でした。 **講習室 402**

十勝川相生中島市民協働会議提案 計画平面図

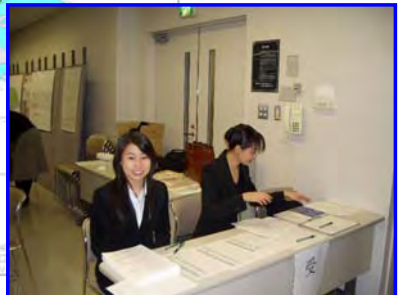
3年間の公開ワークショップの基本とし、参加費1000円アンケート、協働会議アンケート、説明会アンケート、シンポジウム議案案を参考に作成



千葉代表挨拶



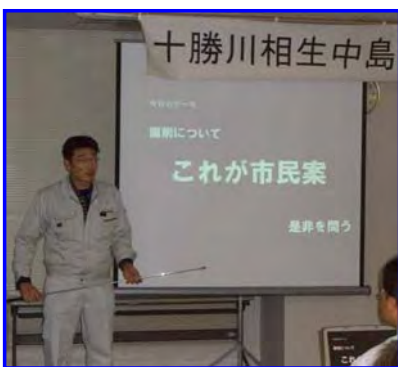
すてきな受付嬢が迎えてくれました



沢山のご参加、有り難うございました



協働会議のこれまでの経緯とマスタープランの説明
弁士 事務局 倉田 亜以土



第1クール	相生中島地区川づくりワークショップ 1回~5回 相生中島課題と現況の把握
第2クール	相生中島地区川づくりワークショップ 6回~11回 相生中島整備の考え方と方向性の決定
第3クール	相生中島市民協働会議 1回~5回 (+左岸見学会) 市民案としての 市民として提言可能なレベルまでの相生中島整備の概略設計の決定 今はココ
第4クール	利用方法からさらなる詳細へ ルール・樹木緑化
第5クール	設計や工事のチェック作業からさらなる詳細へ

論点の整理

種	論点	前回の評価					Δ×の理由	市民案の特徴
		A	B	C	D	E		
論点1	河道ライン	○	○	△	○	○		ハルニシ林100%保全 木のある帯広流が得意
論点2	上流帯工	○	×	○	○	△		橋がハルニシ、旧帯広川 にからぬように 角度変更
論点3	旧帯広川	○	○	○	○	○		水路は保全 農具木は2/3伐採
論点4	右岸法勾配	△	○	○	○	○		10割基本 木のあるところ0.5割
論点5	池の造成	○	△	○	△	○		水路に対して0% 連結しない
論点6	中州温存	○	△	△	△	○		ハルニシ林、ケンヨウヤナギ、 ケンヨウヤナギの保全
論点7	左岸法勾配	△	△	△	○	△		ハルニシ林の割 河野科の割1~0.5割
論点8	展望塔	△	○	○	○	△		場所を移動すべき 視界の上に設置
論点9	灌漑	△	△	△	×	○		水路内は不要 水路内は通さない

帯広開発建設部主催で平成14年から行われてきた『相生中島地区川づくりWS』が平成16年で終了し、平成17年1月より十勝川相生中島市民協働会議が発足しました。相生中島の治水（安全性）の必要性を認識しつつ自然環境保全・利活用について市民が主体となって、44名の会員で1年間検討を続けて来ました。

論点としては1. 河道ライン 2. 上流側の帯工 3. 旧帯広川の保全 4. 右岸側の法勾配 5. 池の造成 6. 中州温存 7. 左岸法勾配 8. 展望塔 9. 進入道路の9点があげられ、市民案として整理しました。

現在は、第3クールまで到達し、今後は利用方法やルール作り・設計や工事のチェック作業へと進んでいきます。



**パネル討論会
『未来を語ろう！！相生中島』**



パネラーのご紹介（写真左より）

帯広開発建設部 治水課 流域計画官 渡邊 和好様
 帯広畜産大学 畜産学部畜産環境科学科 助教授 柳川 久様
 北海道大学 公共政策大学院 副院長 加賀屋 誠一様
 更別村立更別中央中学校 教諭 梶 紀明様
 斉藤道俊法律事務所 弁護士 長谷川 亮様
 十勝川相生中島市民協働会議 事務局 和田 哲也

**ファシリテーター
太田事務局長**



パネラーのご意見

- **加賀屋 誠一**副院長（元相生中島地区川づくりWS ファシリテーター）
 相生中島地区とは、平成14年から帯広開発建設部主催の相生中島地区川づくりWSより関わり合いを持っています。具体的な市民案で、協働会議での論議がうまく行われたのだと思います。（作品は90点以上の出来）治水と自然の両方を持続可能なものにする考え方であり全国のモデル地区になります。
- **柳川 久助**教授
 川は生き物であり、氾濫源の生態系は攪乱のシステムにより維持され、市民案はそれに良く合致した案となっています。今後は、生態系保存のダメージ軽減提案が必要であり、展望台設置は5年・10年後のモニタリングに利用できると思います。
- **渡邊 和好**流域計画官
 今回の市民案は、相生中島地区川づくりWSで白紙の状態から論議してきた案の発展型となっています。今後は、安全であること・利活用について論議していかなければなりません。
- **事務局 和田 哲也**
 昨年1月に開発主催のWSが終了し当事務局では1年間、市民案としての具体的な肉付けを行い提案しました。事務局としては、事務局案ではなくアンケートや論議により市民案として反映することを目標としてきました。先生方に90点の評価を頂いたのは、光栄です。今後は、治水を目的として作る以上安全でなくてはならないこと・利活用に関してはゾーニングを検討する・河川管理者と市民案の調整を行っていききたいと思います。
- **長谷川 亮**弁護士（帯広に着任され3ヶ月だそうです）
 相生中島地区を初めて見て、市街地のこんな近くに白鳥がいたり自然が沢山残っている場所があることに感動しました。自然を守った上で治水を行い、自然と親しむ為と同じ志を持った市民が集まって活動している意味が分かりました。
- **梶 紀明**先生（河川ボランティア 有資格者）
 ヌップク川をきれいにする会の事務局に在籍し、川の里親となって管理しています。今後、相生中島を誰がどのように管理していくか論議して欲しい。
 ・どこにどのような利用をするのか？どの自然を残すのかゾーニングが必要。（自然と人間の共有）
 ・時間をかけて管理指針（ルール）を作って欲しい。



諸先生・ご参加の皆様より沢山のご意見・ご指導を頂き事務局一同、更にご期待に添える様、更に頑張っております。今後も盛り沢山の意見交換会や見学会を開催致しますのでご参加お待ちしております。シンポジウムに関する新聞記事を添付致しますのでご覧下さい。



十勝川相生中島市民協働会議事務局
 問い合わせ先：川の駅・十勝川（十勝川インフォメーションセンター2F）
 TEL：0155-23-2160



HPアドレス <http://homepage2.nifty.com/aioinakajima/>
 十勝川相生中島市民協働会議のHPは、新しい情報が随時更新されています。皆様からのご意見お待ちしております。



編集 事務局 中田 利紀



